



株式会社ハピネス・アンド・ディ

**2023年8月期 決算説明会
(2022年9月～2023年8月)**

2023年10月27日
(東証スタンダード 3174)



目次

第1部. 2023年8月期 決算説明	
1. 2023年8月期 決算ハイライト	P. 1
2. 既存店前年比の推移	P. 2
3. 商品区分別売上高の推移	P. 3
4. 2023年8月期 決算概況(連結)	P. 4
5. 通期業績予想	P. 5
6. 配当方針、配当予想	P. 6

第2部中期経営計画について	
前中期経営計画 結果	P. 7
2023年8月期決算 総括	P. 8
(外部環境) 円安 物価高の影響	P. 9
外部環境の打開へ向けて	P. 10
新中期経営計画(2024/8月期~20268月期) 前提	P. 11
(補足)今後想定されるM&A	P. 12
(補足)経営の役割分担	P. 13
ハピネス・アンド・ディ中期計画	P. 14
ハピネス・アンド・ディ PBパイプライン開発	P. 15
AbHeri 中期計画	P. 16
AbHeri 成長戦略	P. 17
No.(新規事業)中期計画	P. 18
No. 成長戦略	P. 19
連結中期経営計画(ハピネス・AbHeri・新規事業)	P. 20
ハピネスの社会的責任~これまでの取り組み	P. 21
5つのマテリアリティ(人財戦略を除く)	P. 22
HAPPINESSが目指す社会	P. 23
6つ目のマテリアリティ~人財戦略~	P. 24



第1部 2023年8月期 決算説明 (2022年9月～2023年8月)

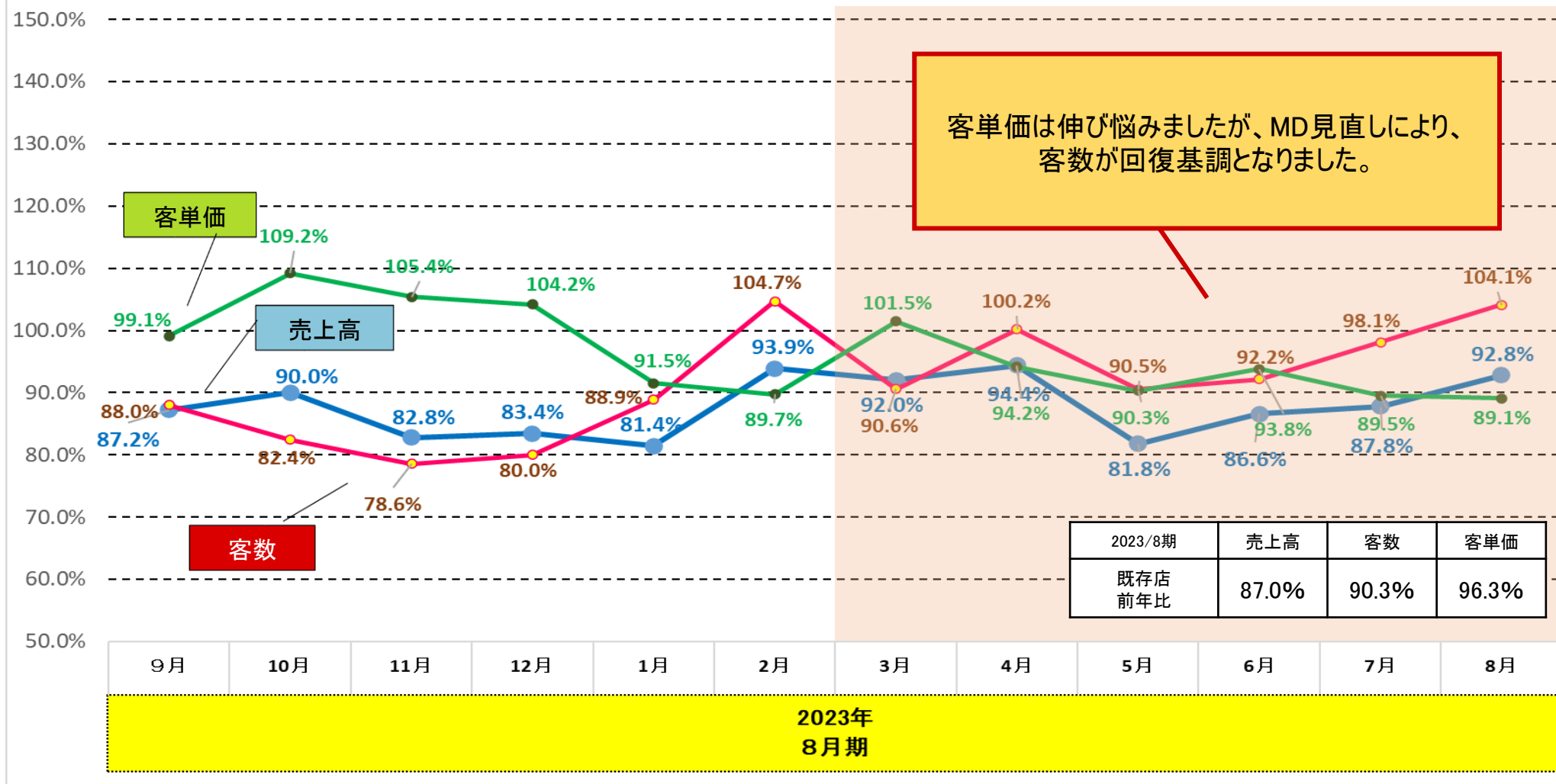
代表取締役社長 営業本部長 田 篤史

1. 2023年8月期 決算ハイライト

- ◆ 繁忙期の年末年始商戦に、諸物価の高騰が重なり、販売に苦戦
主カインポートブランド品の価格高騰の影響も受け、消費マインドが大きく落ち込む
- ◆ 2022年12月にジュエリー製造販売の(株)AbHeri(アベリ)を100%子会社化
AbHeriの業績は順調に推移
- ◆ 収支改善へ向けて、不振店10店舗の閉店を決定(2024/8月期に順次閉店)

2. 既存店前年比の推移(単体)

(月次) 既存店売上、客数、客単価 前年比の推移



3.商品区分別売上高の推移(単体→連結 収益認識基準 純額売上高)

子会社AbHeriについては、当期の12月～8月の9ヵ月間を連結対象としております。前期は単体ベースで記載しております。

百万円	2022/8月期 単体		2023/8月期 連結	
	()は構成比	前期は総額売上のため未記載	()は構成比	当期から連結決算のため未記載
売上高(総額)	13,608 (-)	-	12,742 (-)	-
バッグ小物	7,716 (56.7%)	-	7,335 (57.6%)	-
時計	3,349 (24.6%)	-	2,532 (19.9%)	-
宝飾	2,543 (18.7%)	-	2,875 (22.6%)	-

<単体ベース>

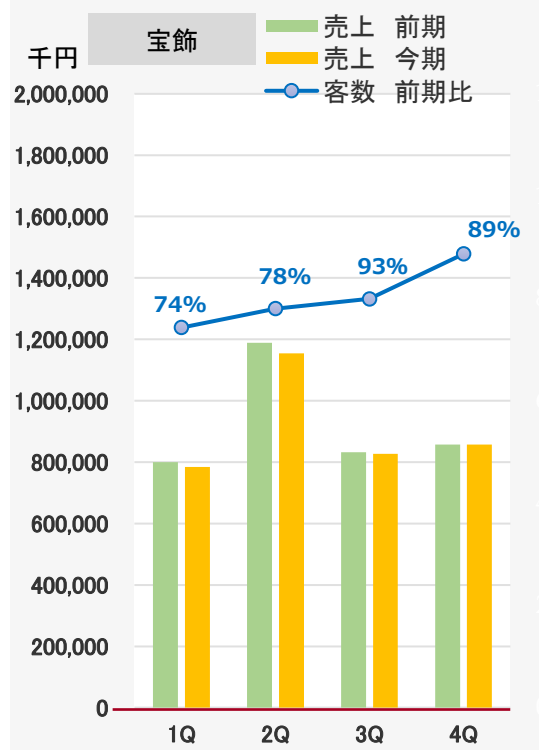
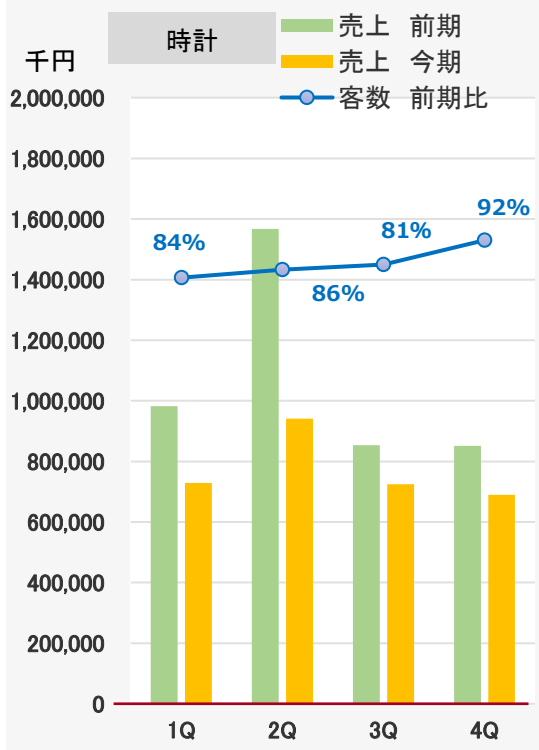
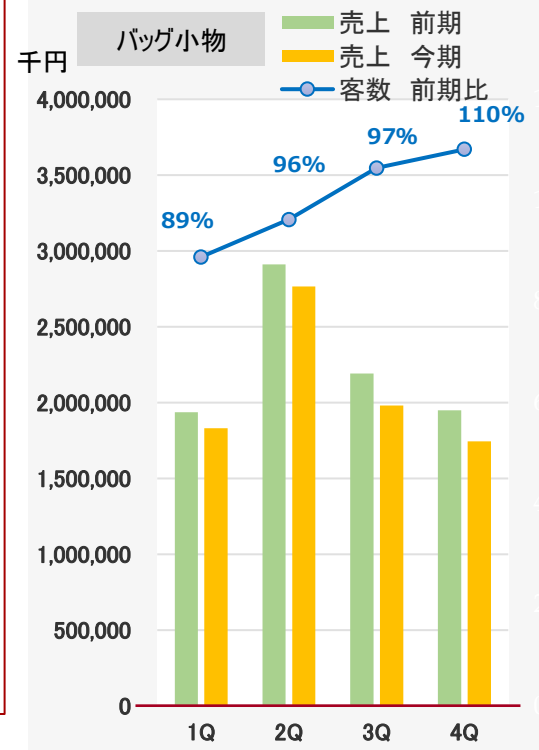
バッグ・小物
海外ブランドは価格高騰の影響を受け、買い控えの傾向が顕著となるが、PBブランドH&Dは堅調に推移。単体ベースの前期比は4.9%減となった

時計
海外ブランド時計が価格高騰の影響で大きく落ち込む。前年堅調だった2Qの反動もあり、同24.3%減となった

宝飾
金価格高騰によりファッションジュエリーが影響を受けたが、金商品の販売が好調に推移。同2.0%減となった

海外ブランド時計が価格高騰の影響を受け大幅減。連結はAbHeriが好調で宝飾品拡大。

月次グラフは単体総額売上ベース



4. 2023年8月期 決算概況(連結)

	(参考) 2022/8月期(単体)			2023/8月期 実績 (連結)			
	(千円)	構成比		(千円)	構成比	前期比	同増減額
売上高	13,608,915	100.0%	売上高	12,742,594	100.0%	—	—
売上総利益	4,544,312	33.3%	売上総利益	4,464,658	35.0%	—	—
販管費	4,354,299	31.9%	販管費	4,681,458	36.7%	—	—
営業利益	190,012	1.3%	営業損失	△216,799	—	—	—
経常利益	191,384	1.4%	経常損失	△243,762	—	—	—
特別利益	10,272	0.07%	特別利益	1,961	0.01%	—	—
特別損失	33,179	0.24%	特別損失	211,221	1.6%	—	—
税引き前当期純利益	168,477	—	税金等調整前当期純損失	△453,021	—	—	—
法人税等合計	78,610	—	法人税等合計	215,030	—	—	—
当期純利益	89,866	0.66%	親会社株主に帰属する当期純損失	△668,051	—	—	—
店舗数	86		店舗数 ()内は単体	91(88)			
粗利率	33.3%		粗利率	35.0%			

売上高

諸物価高騰による消費意欲の減退が大きく影響した。連結子会社となった AbHeriは好調に推移した(2022年12月子会社化)。

売上総利益

宝飾部門・高粗利商材の強化等の粗利率向上施策により、粗利率は35.0%となった。

営業損失

人材投資・DX投資の積極化や店舗光熱費が想定を上回ったこと、M&A費用、のれんの償却の発生等により販管費が増加し、営業損失は216百万円となった。

特別損失

10店舗の閉店決定や減損損失の発生により、211百万円を計上。

法人税等合計

繰延税金資産の取崩しにより、法人税等調整額に156百万円を計上。

親会社株主に帰属する当期純損失

668百万円の純損失となった。

※ 2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。
 当期より連結決算に移行しているため、前期比較は記載しておりません。
 なお、連結対象としている業績の期間は2022年12月～2023年8月までとなります。

5. 通期業績予想

2024年8月期 通期 連結業績見通しは、

売上高 114億8,800万円、営業利益 △ 9,500万円、

経常利益 △ 1億3,600万円、親会社株主に帰属する当期純利益 △ 1億4,900万円

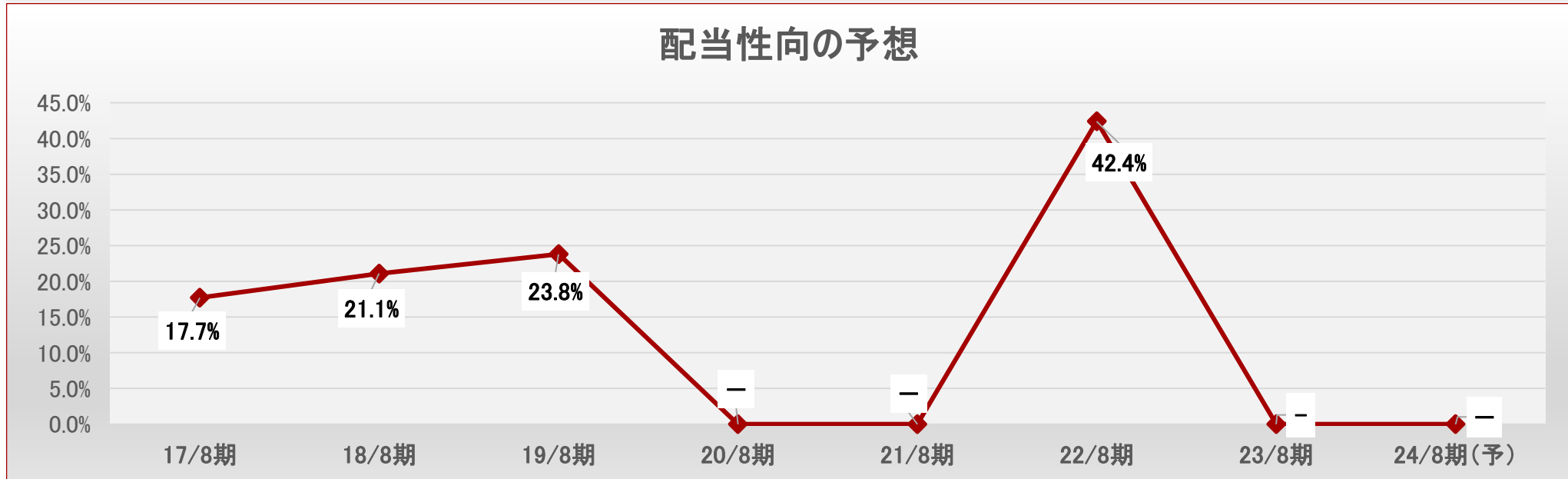
2024年8月期を初年度とする中期3ヵ年計画を策定いたしました。ハピネスについては宝飾品・PBブランドへ商品改革を図り、不採算店舗の順次閉店を進めるとともに、ジュエリー新規事業・M&Aの積極化により、業績の改善に取り組んでまいります。

	2024/8月期 通期 業績予想				前期	
	(百万円)	前期対比	前期増減額	構成比 (純額売上比)	(百万円)	構成比 (純額売上比)
売上高 (純額)	11,488	90.1%	△ 1,254	—	12,742	—
営業利益	△ 95	—	+ 121	—	△ 216	—
経常利益	△ 136	—	+ 107	—	△ 243	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 149	—	+ 519	—	△ 668	—

※ 2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しており、売上高は純額ベースとなります。

6. 配当方針、配当予想

◆ 配当方針



◆ 配当予想

2024年8月期は中間配当7円50銭、期末配当7円50銭の年間15円を予想しております。

	中間配当金	期末配当金	年間
2023/8月期 配当金	7円 50銭	7円 50銭	15円 00銭
2024/8月期 配当金 (当期予想)	7円 50銭(予)	7円 50銭(予)	15円 00銭(予)



第2部 中期経営計画について (2024年8月期～2026年8月期)

専務取締役 グループ戦略担当 前原 聡



2022～2024年 前中期経営計画 結果

(単位:百万円)

	2021年 8月期 (実績)	2022年 8月期 (計画)	2022年 8月期 (実績)	2023年 8月期 (計画)	2023年 8月期 (単体実績)	2023年 8月期 (連結実績)
総額売上高	18,311	19,150	17,413	21,500	15,426	15,824
売上総利益高	4,167	4,715	4,544	5,375	4,218	4,464
(売上総利益率)	22.75%	24.62%	26.0%	25.0%	27.3%	28.2%
販売費及び 一般管理費	4,239	4,544	4,354	4,725	4,486	4,682
営業利益	△72	171	190	650	△267	△217
新店数	5	4	4	4	3(閉店1)	3(閉店1)
店舗数(期末)	82	86	86	90	88	91
外部環境	コロナ禍影響大	コロナ禍影響 前期並みを想定	コロナ禍影響 ウクライナ紛争	コロナ禍沈静化	為替安 原料・人件費高	2022年12月より 9か月間連結

2023年8月期決算 総括

客単価減少

主力商材の値頃感が薄れる

- 輸入ブランドの売価の見直し、円安により売価上昇が進む
- 高価格帯の輸入ブランドの売上鈍化に伴い客単価が大幅に減少

中期経営計画 取り下げ

減収減益

- 人件費、水道光熱費が上昇し経費負担が増加
- 計画前提の外部環境が大幅に変化、中期経営計画を取り下げ

粗利率改善

プライベート・ブランド強化

- PBパイプラインの展開が進み粗利率は持続的に改善

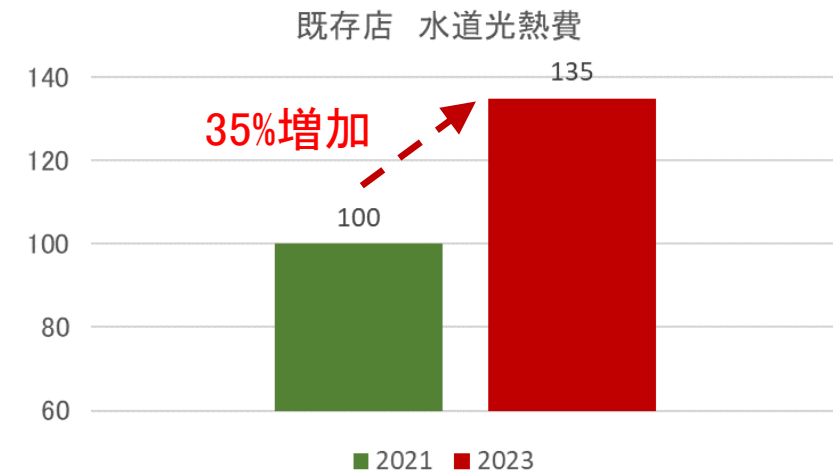
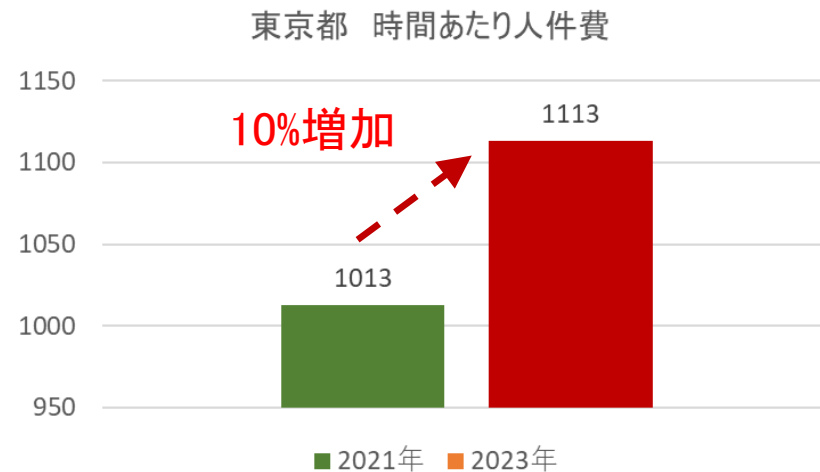
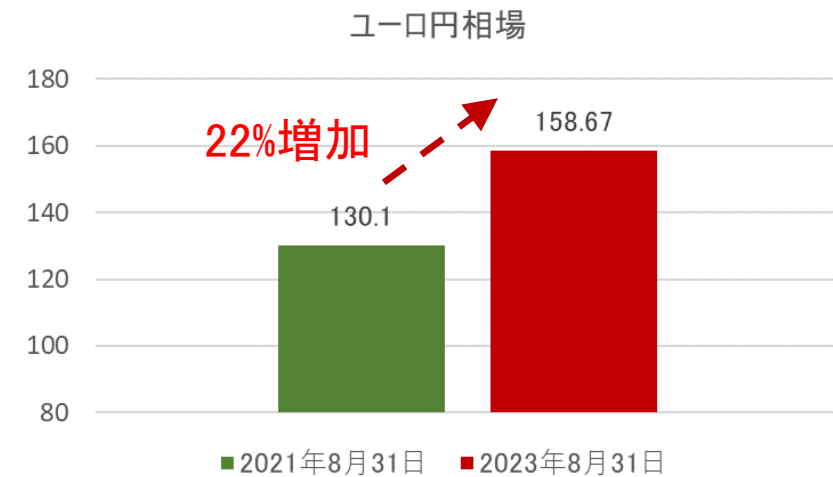
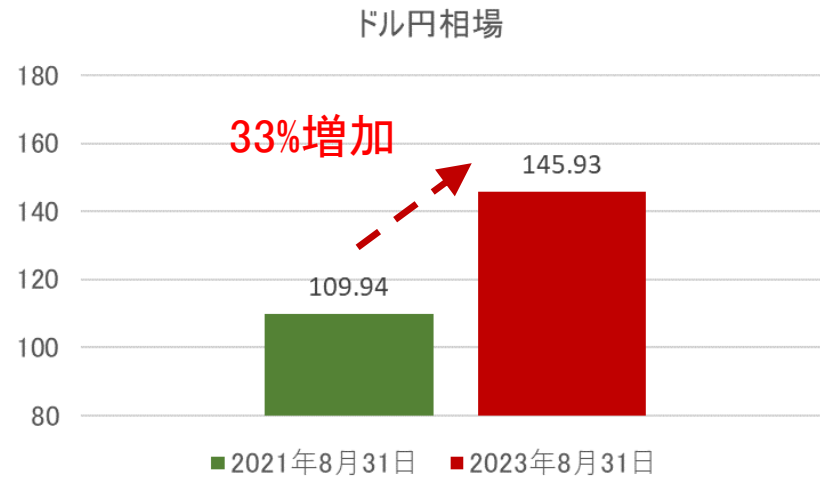
グループ会社

単一事業モデルからの脱却

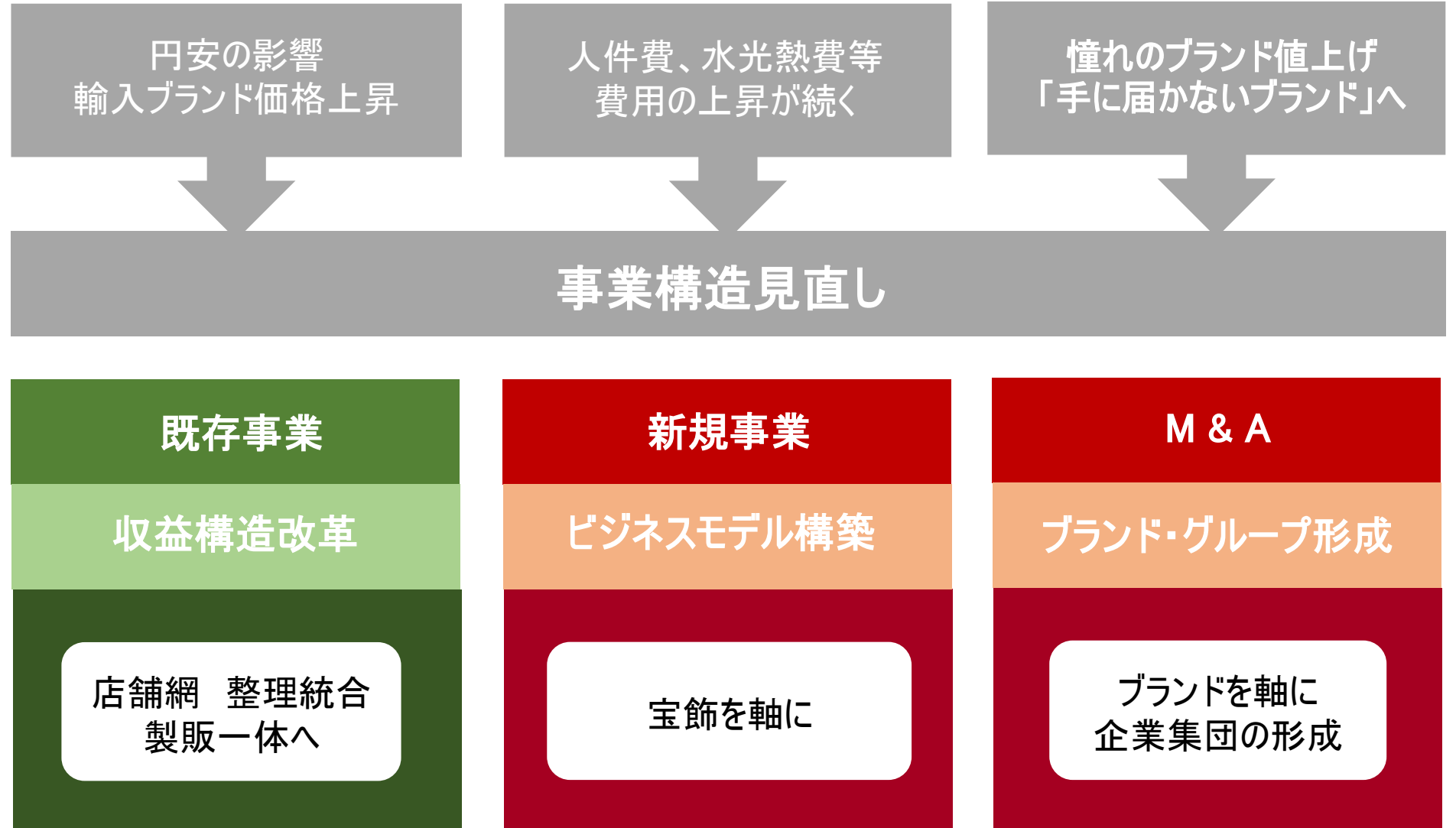
- M&Aにより、(株) AbHeri グループ会社入り

【外部環境】円安 物価高の影響

対ドル / 対ユーロ、円安が大幅に進行。合わせて人件費・水光熱費も大幅に増加

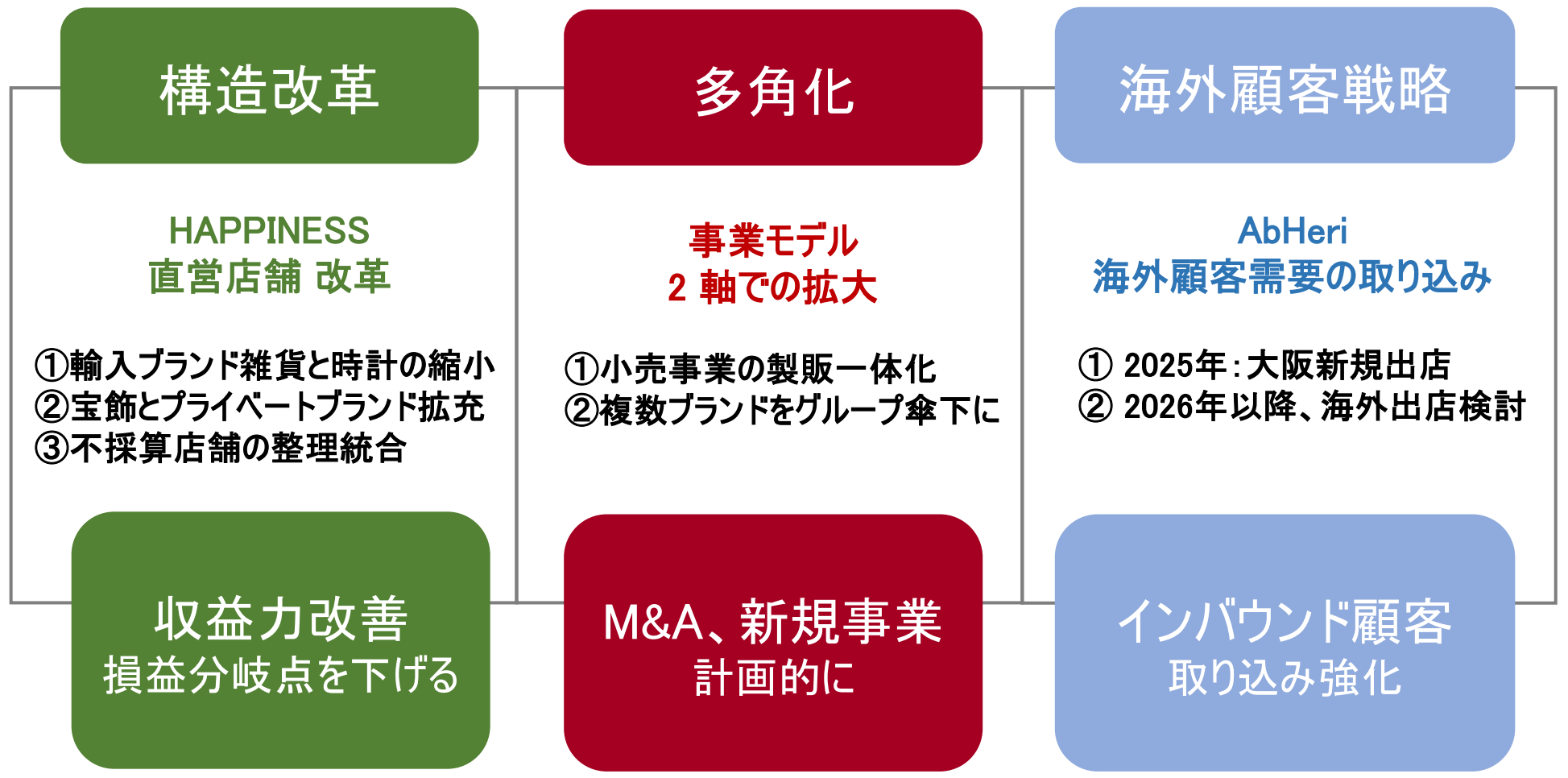


外部環境の打開に向けて



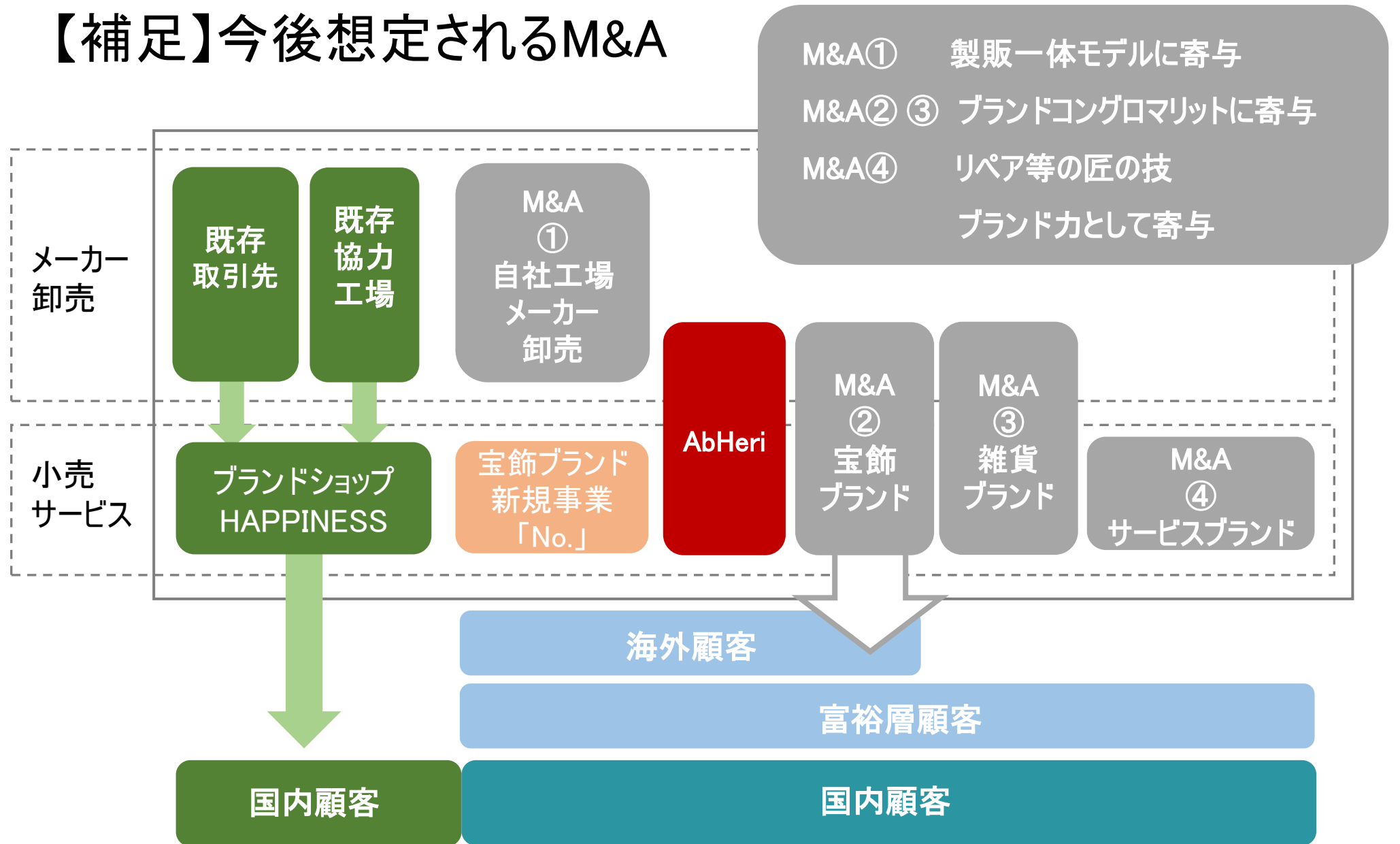


新中期経営計画(2024/8期~2025/8期) 前提



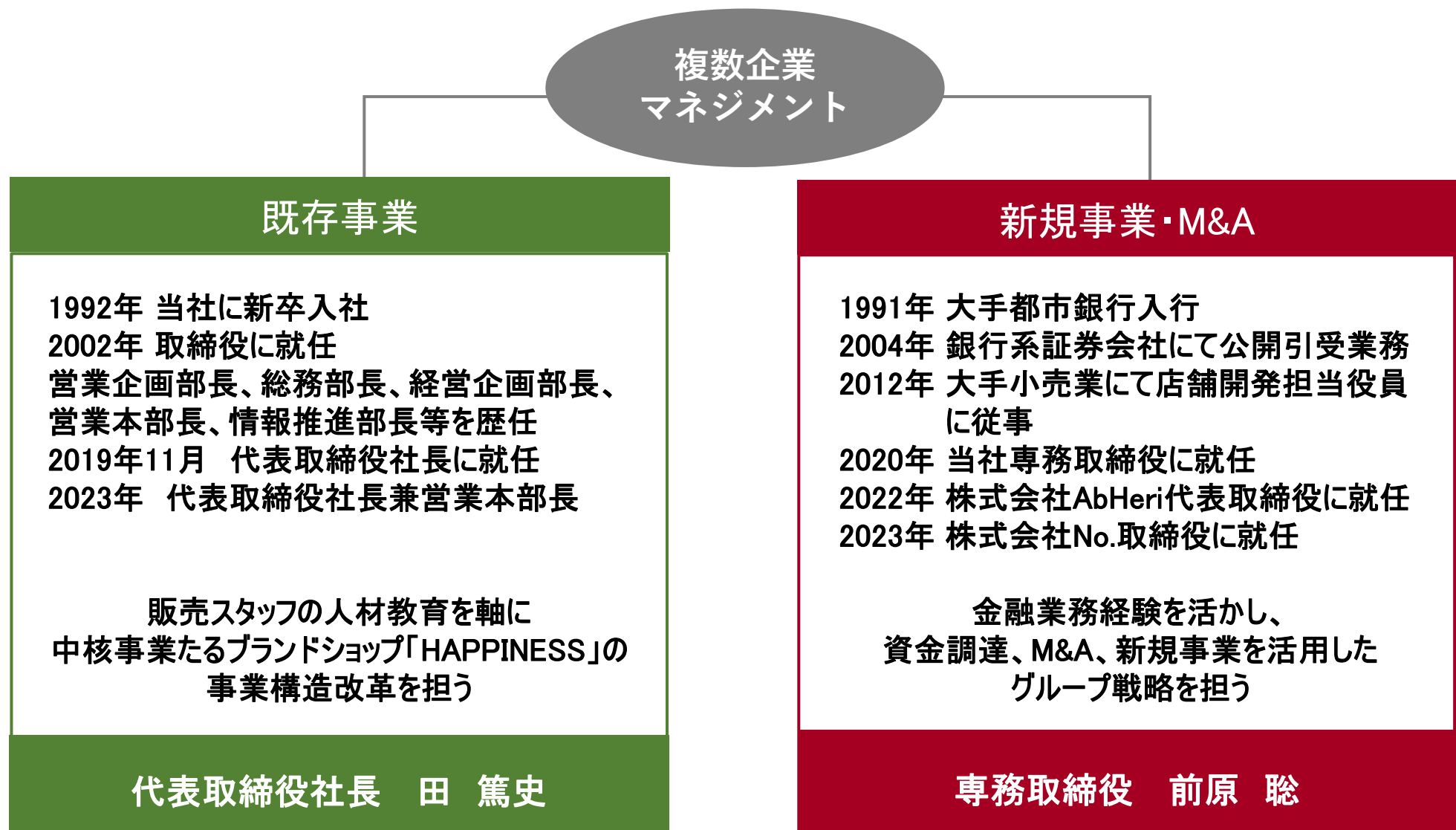


【補足】今後想定されるM&A





【補足】経営の役割分担





ハピネス・アンド・ディ 中期計画

(単位:百万円)

PL予算	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
総額売上高	13,666	13,068	12,805
売上総利益	4,008	4,076	4,089
(売上総利益率)	29.4%	31.2%	32.0%
販管費	4,214	4,019	3,929
(人件費)	2,033	1,976	1,960
(経費)	2,181	2,043	1,969
営業利益	△206	56	160
店舗数	74	72	70

2024年8月期にて14店舗を閉店 以後も不採算店舗は順次閉店
残りの店舗も宝飾とPBブランドの拡充にて粗利率は32%まで改善



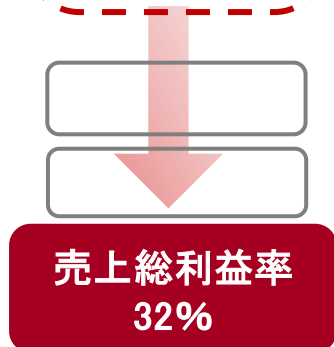
ハピネス・アンド・ディ PBパイプライン開発



定番化	皮革製品	2020年夏企画	2020年秋工場提携	2021年春販売開始	月間販売数 1,300個以上	<div style="border: 2px dashed red; padding: 5px;"> 年間売上 2億円規模 年間売上 5千万規模 年間売上 3億円規模 年間売上 2億円規模 </div>
	アウター	2021年冬企画	2022年春工場提携	2022年秋販売開始	シーズン販売数 1,200着以上	
進行中	宝飾	2023年春企画	2023年春工場提携	2023年秋販売開始	シルバーから ラグジュアリーまで	
	化繊袋製品	2023年夏企画	2023年秋工場提携	2024年春販売開始	月間販売数 4,000個以上	

予定
その他
その他

**前中計から引き続き
PBパイプラインの拡充を目指す**





AbHeri 中期計画

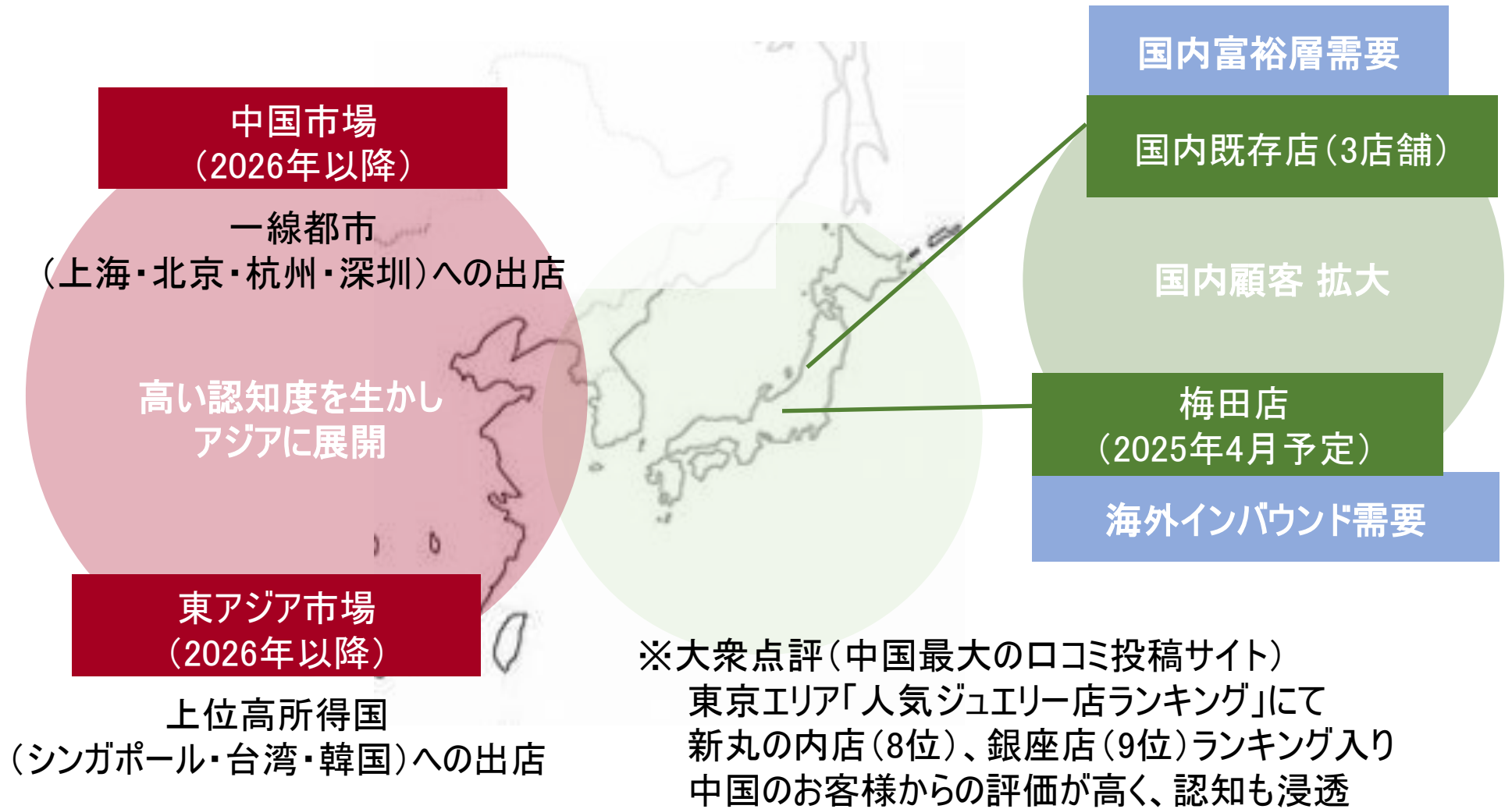
(単位:百万円)

PL予算	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
総額売上高	524	537	623
売上原価	176	190	216
売上総利益	348	347	407
販管費	222	248	281
営業利益	126	99	126
店舗数	3	4	4

2025年4月より大阪に新規出店を予定



AbHeri 成長戦略





No.(新規事業)中期計画

(単位:百万円)

PL予算	2024年 8月期	2025年 8月期	2026年 8月期
総額売上高	18	84	未定 (前期と同額を仮設定)
売上原価	5.4	25.2	
売上総利益	12.6	58.8	
販管費	22	46	
営業利益	△9.4	12.8	

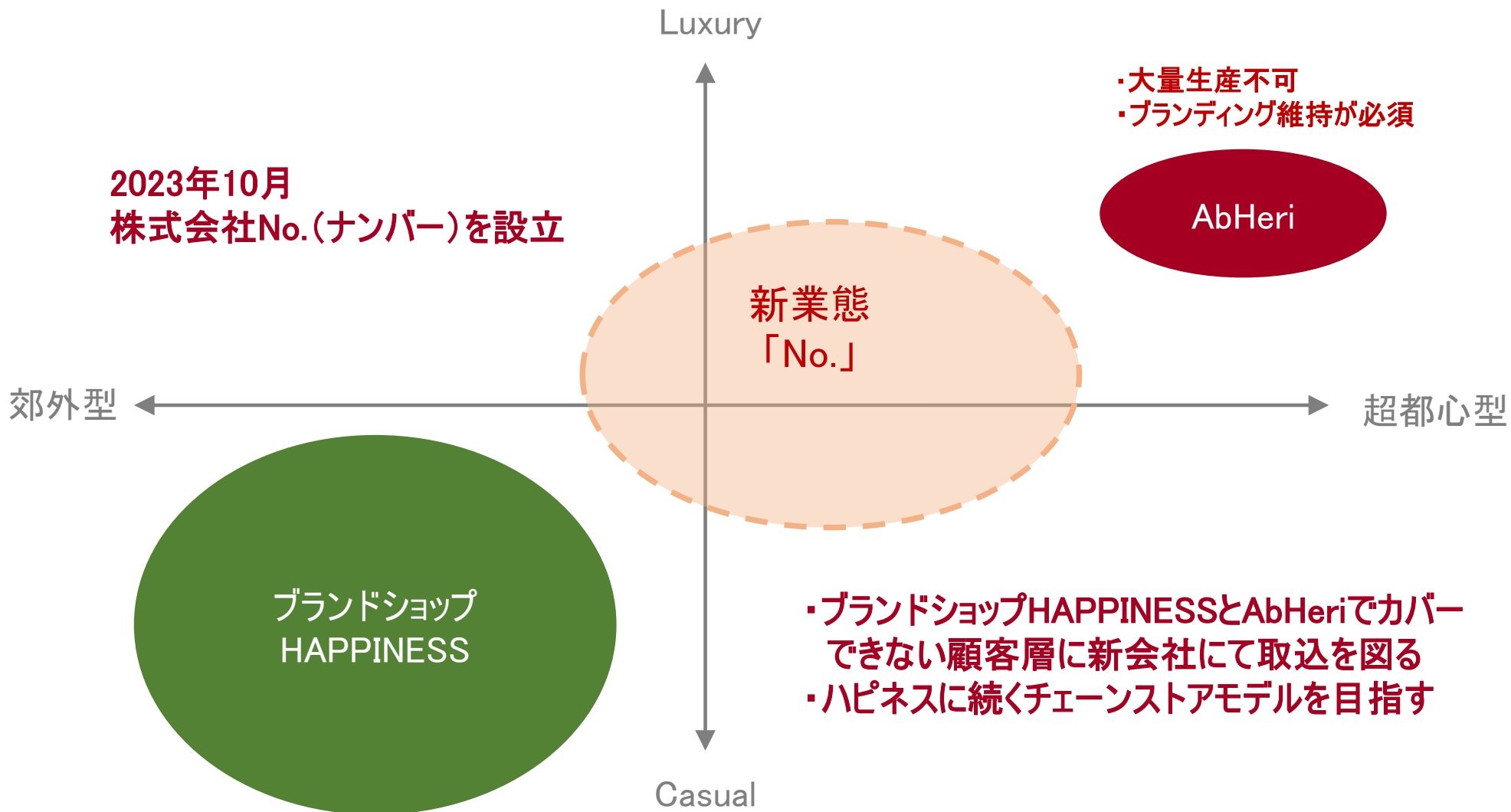
2023年10月に新規事業として法人設立

2024年8月期は商品開発期と位置づけ、市場調査と商品企画が中心 4Q以降で試行販売

2025年8月期にECとリアル店舗出店にて84百万円の売上計上を見込



【新規事業】(株) No.成長戦略





連結中期経営計画（ハピネス・AbHeri・新規事業）

（単位：百万円）

PL予算	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
総額売上高	14,207	13,689	13,512
売上原価	9,839	9,207	8,957
売上総利益	4,368	4,481	4,555
（売上総利益率）	30.7%	32.7%	33.7%
販管費	4,464	4,319	4,262
営業利益	△96	162	293

2024年8月期は3社合計でも営業赤字が続く

2025年8月期にブランドショップ「HAPPINESS」の黒字転化とともに連結黒字化へ

2026年8月期には「HAPPINESS」の店舗整理統合が一巡し、グループ3社の全社黒字化

ハピネスの社会的責任～これまでの取り組み～

実行時期	事業の成長	サステナビリティ	関連するSDGs
2011年～		オレンジリボン運動支援	全ての人に健康と福祉を (NO3)
2020年～	人材投資	婚礼業界ワタベウェディングから出向社員受入継続	働きがいも経済成長も (NO8)
2021年～	PB商品開発	世界最貧国バングラデシュでの皮革製品製造開始	貧困を救おう (NO1)
	ショッピングバック削減	ショッピングバック有料化 従前より7割の資源削減	つくる責任つかう責任 (NO12)
2022年～	PB商品開発	海洋ゴミを再生したサングラスの製造販売	海の豊かさを守ろう (NO14)
		H&D売上金の一部をウクライナ支援に	全ての人に健康と福祉を (NO3)
2023年～	PB商品開発	リサイクル素材を活用したダウンコートの開発・販売	つくる責任つかう責任 (NO12)
		H&D売上金の一部をバリアフリー基金・海洋保護に寄付	全ての人に健康と福祉を (NO3) 海の豊かさを守ろう (NO14)

ハピネスは毎年着実にサステナビリティを入れ込んだ事業活動を行っております

5つのマテリアリティ(人財戦略を除く)

マテリアリティ	SDGs	当社の取り組み
1 貧困	1 番目 貧困をなくそう	【お買い物を通じて社会問題への解決を図る商品開発】をテーマに、 世界最貧国バングラデシュでのPB皮革製品製造
	10 番目 人や国の不平等をなくそう	
2 健康福祉	3 番目 すべての人に健康と福祉を	子ども虐待防止を呼び掛ける「オレンジリボン運動」への参加・支援
	5 番目 ジェンダー平等を実現しよう	モデル店舗を設定し、 女性の雇用制度と研修内容の見直しの実施
4 資源保全	12 番目 つくる責任つかう責任	ショッピングバッグ有料化により資源消費量削減
	14 番目 海の豊かさを守ろう	リサイクル素材を活用したPBダウンコートの開発・販売
5 海洋保護	14 番目 海の豊かさを守ろう	「海への関心や好奇心の喚起、海の問題解決に向けたアクションの輪を広げる」という考えに賛同し、海と日本プロジェクト推進基金に寄付を しております。 2023年8月期実績：706,065円

ハピネスはこれからもサステナビリティを入れ込んだ事業活動に取り組んでいきます

ハピネスが賛同するValueの基金に、当社プライベートブランドH&Dの売上の1%を寄付しました。

H&D *Happiness*

長期経営方針として全ての
ステークホルダー（お客様、取引先、
従業員、社会）に愛される会社を
目指しています



1% Donation for Ukraine



H & D

プライベートブランドH&Dは
開発ポリシーに「社会課題の
解決」を包含しています

人財育成方針

自律的なキャリア形成支援

- ・ 社内公募制度 : 2件成立 (2023年8月期までの2年間)
- ・ 正社員登用制度 : 14件成立 (2023年8月期までの2年間)

資格取得の奨励

- ・ 資格取得援助制度 : 41名合格 (2023年3月試験実施ジュエリーコーディネーター検定)

社内環境整備方針

多様な働き方に応じた労働環境の整備

- ・ フレキシブルで効率的な就業環境 : テレワーク・シフト制の活用・雇用形態変更

働きやすい労働環境への取り組み

- ・ 育児休業等取得後の処遇上の差を取り戻すことが可能となる評価制度の構築への取り組み
- ・ 年次有給休暇取得促進 : 取得計画期間の設定

お問い合わせ先

ハピネス・アンド・ディ 社長室

TEL 03-3562-7525

FAX 03-3562-7531

E-mail information@happiness-d.co.jp

URL <https://www.happiness-d.co.jp>



(株)ハピネスアンドディ (東証スタンダード 3174)

〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目16-1 東貨ビル4F
TEL:03-3562-7526



ハピネス公式アプリ
今すぐダウンロード!



AbHeri公式HP

・本資料は、投資家の皆様の投資の参考となる情報提供のみを目的としており、特定の商品についての募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません

・本資料に記載の業績見通し及び将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております
実際の業績等は、今後の事業領域を取巻く経済状況、市場の動向)により、これらの業績見通しとは異なる場合がございます